

令和5年度 第4回美里地域会議 会議録

日 時：令和5年7月24日（月曜日）午後7時から午後8時15分まで

場 所：豊田スタジアム 会議室1・2

出席者：太田市長

＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡田 宏之、岡本 渉、笠松 保希、
小林 忠雄、柴田 勝正、代田 正晴、千葉 善郎、
中島 康隆、成田 恵美子、細川 章一、松村 洋、
望月 英光、山本 由和
（欠席）豊田 博久、山田 正見

＜地域振興部＞後藤部長、中川室長

＜公園緑地つかう課＞榎本副課長、村瀬担当長

＜高橋支所＞前田支所長、出口副支所長、吉野担当長、永田主査、
眞野主査、川瀬主査

≪内容≫

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長あいさつ

3 提言書授受・提言内容説明

岡田会長から豊田市長へ提言書を手渡し、提言内容について説明した。

【提言内容の抜粋】

美里地区内の自治区及び各種団体の役員に対して実施した「美里地区のまちづくりに関するアンケート」を参考に、当地域会議において検討した結果、コロナ禍の影響等により希薄化した「地域住民の交流」が課題であると合意した。その課題解決のため、次の三つの取組が必要であると提言する。

- 1 自治区行事の充実に向けた支援
- 2 交流の場として公園を有効活用するための支援
- 3 地域内の交流施設の情報発信

4 市長あいさつ（要旨）

- ・当市ではここ1～2年、地域会議の在り方を見直している。
- ・各自治区長は、地域自治の運営で日々多忙である。今回の提言内容も、地域では日常的に話題になっていたと思われるが、取組が先送りされてきた。地域会議には、そのような地域課題を深掘して表に出す役割を担ってもらっている。
- ・提言に対応した取組を進めるにあたり、行政も役割を果たすが、地域は誰が担うのかが大きな問題。
- ・提言一つ目の「自治区行事の充実」については全市的に悩んでいる。この2～3年は、自治区行事が中止、縮小され、そのノウハウを知る人がいない問題は、市

内随所で起きているので、自治区行事の継続についてゼロベースで考えることも必要。継続するなら、そのやり方等も新しい目で見ること大切。豊田市では、昨年度、「災害時におけるキッチンカーによる物資の供給等に関する協定」を結んだ。防災を絡めた地域のイベントを行うなら、防災対策課を通じて、協定を結んだキッチンカー事業者を活用してほしい。

- ・提言二つ目の、モデル公園については、可能性があるなら一度提案してもらいたい。(市長から公園緑地つかう課に提言に向けた取組に関する見解を確認した。)

<公園緑地つかう課からの回答>

都市公園条例、地域広場条例と照らし合わせて、できるだけ寄り添って、地域のみなさんの声を聴いて、できることを進めていきたい。

- ・公園については基準を設けざるを得ないが、その基準が本当に正しいのか、時代に合っているのか疑う必要がある。このような提言がもらえれば、地元の人の意見を聞きながら、可能性を探ることはできる。
- ・提言三つ目の、情報発信は、取り組む価値はあるが、情報の整理が大変。丁寧に情報を更新しないと、使い物にならなくなる。情報の内容でトラブルになることも多いのでよく考えて取り組んでほしい。
- ・提言については、内容だけでなく、そのプロセスが何よりも地域の皆さんにとって大切だと思う。今回の提言は、コロナ禍で地域のコミュニケーションが取られていなかった中で話し合う機会を持てたことにとっても価値がある。感謝します。

5 意見交換

<望月委員>

- ・自治区のホームページを立ち上げたが、どうやって維持するか、誰が更新するかが課題。紙ではない情報提供の手段は何があるか調べている中で、美里交流館のホームページを見つけた。豊田市の施策情報を交流館のホームページでも出せないか。地域住民は、生活情報が欲しい。

<市長>

- ・知らないのは、必要がないからではないか。欲しい情報は自ら取りに行く。情報を出す側が伝えたい情報を出しているだけで、受け手が欲しい情報ではない。情報を探るとき、自分が欲しい情報にあたる可能性が極めて低い。豊田市から出している市政情報は、今のところ LINE の情報が一番確実。行政情報は大量にあり、受け取る側は全ての情報が必要なわけではない。受け手が必要な情報にチェックをしてもらい、該当する情報だけダイレクトに提供するようにしている。それでも情報が多い。本当に自分が欲しい情報は、電話するのが確実。今回の提言にあるような情報のデータベースを作ったからと言ってみんなが使うかという、そ

ういう訳ではない気がする。一番良いのは口コミ。行き会う機会を増やし、寄り合いの場を意図的に増やして口コミで広めるのが固い。だから地域の集まりをできるだけ復活したい。一見無駄なように見えても無駄ではない。同じ人ばかりが地域活動に参加するのも悪いわけではない。10人集まれば、その10人が別な集まりを持っていて、広がっていく。それができるのが地域の強み。顔の見える関係、声の届く関係を復活させたい。

<岡本委員>

- ・まず、美里地区区長会としては、東山町自治区周辺の協力を得て、WRC を盛り上げていきたい。
- ・個人的には、これまでに当地域会議で取り組んできた防災事業を、もう少し取り組みたい思いもあったが、地域の声を聞いて、交流事業について今回は提言した。
- ・昨年度（令和4年12月）の地域会議で、市長から「美里地区は何が有名だと思うか。何かあるか。」と聞かれたときに、私は何も答えられなかった。何も問題がないからだと思っていたが、実は勉強不足だったと感じた。今回、地域活動の経験のある人にアンケートを取り、結果をよく読んだら、地域活動の担い手不足に気付いた。先ほど市長からも話があったが、誰がやるのかが課題。
- ・現在、自治区のデジタル化実証実験で、美里地区の区長には市からタブレットを与えてもらったので、地区区長会で各自治区の行事予定や防災の備蓄状況を調査した。各自治区の行事予定が分かったことで、他の様子を見に行くことができ、良い取組を参考にすることができた。毎年区長が変わるため、一つ目の提言である「自治区行事の充実に向けた支援」には、現在、地区区長会が整理している情報も役に立つと考えている。
- ・美里地区内のふれあい広場を半分ほど見に行った。市が管理している公園はきれいだが、自治区が管理している広場の管理状況には差がある。第1宝来自治区では、20年ほど前に、モデル広場としてバスケットゴールとサッカーゴールを設置してもらった。ゴミの課題があったが、子ども達への指導で、最近は一ヶ所に集めるようになり、解決の兆しがある。子ども達が広場で騒ぐのは当たり前。周囲への理解をどう得るかが重要。設備の充実は、数年先で良い。まずは、安全管理を徹底していく。自治区のデジタル化実証実験によって、市への工事申請書を電子上で簡単に提出できるようになったので、各区長に協力してもらい、安全管理の徹底を進めている。今後は、モデル広場を作り、公園の活用の検討を進めていきたい。
- ・ICT をどう使っていくかについては、地区区長会の課題でもあり、ファイリングシステムを考え、データを整理している。

<松村副会長>

- ・全体を通して、公園緑地つかう課からご意見がありましたらお願いします。

<公園緑地つかう課>

- ・公園は、市内に7～800ほどあり、維持管理には非常にお金がかかっている。地域の皆様が公園・広場の管理に協力していただけることは非常に有難い。
- ・公園に対しては、苦情が多いのも事実であり、モデル広場をつくるにあたっては周辺住民の方への配慮が必要である。今後、地元の人と協力して、調整していくことになると思う。条例や法律も踏まえて、協力してやっていければと考えている。

<市長>

- ・当市で実施している「歩行者保護モデルカー活動」について、この場で紹介したい。今年も交通事故で5人の命が失われた。事故は、どちらかが気づかない、両方とも気づかないために起こる。両方が気づけば、事故は無くなるが、気づく習慣がない。当市では、横断歩道で歩行者を見つけたら、車は必ず止まることから始めた。本来、止まらないのは道路交通法違反だが、法律を守らない人が多いので、事故が無くならない。横断歩道で止まらない自動車は、それ以外のところでも止まるわけがない。

歩行者側からできることを考えた。都市交通研究所の研究で、ドライバーに対してどういう言葉をかけると、ドライバーは安全運転を心がけるのかを調べたところ、「ありがとう」が一番効果があるということが分かった。交通安全立哨のサインボードには、「飲酒運転ダメ」、「携帯電話ダメ」などが多いが、ほとんどのドライバーは自分ごととして捉えていない。最近、「ありがとう」のサインボードを作成したので活用してほしい。

もう一つ大切なのは、ドライバーの方を見るということ。ドライバーの方を見た時に、相手もこちらを見てくれていたら安全。ドライバーとのアイコンタクト、少なくとも車の動きを見ることで、安全かどうかの判断ができる。子ども達の登校の見守り活動では、ものすごく丁寧に子ども達を守ってくれているが、守りすぎてしまうと、子ども達は気を付ける習慣がなくなってしまう。登下校は、子ども達にとって一番重要な学びの機会。見守り活動の際、「止まってくれた運転手さんにありがとうを言おう」と子ども達に声掛けしてほしい。

- ・ラリーカーが走行してタイヤを温める音は、苦情になりやすいと思う。迷惑をかける東山町自治区周辺限定のラリーに関するフォトコンテストを、賞品も準備して行ったらどうか。そうやって、住民の理解を得ていくことで、ラリー文化を根付かせることができると思う。

- ・地域会議のリニューアルに伴い、支所の権限や財源を強化している。支所長が責任をもって判断できるようになっているので、支所を頼りにしてほしい。市内の28の地域会議が、支所や区長会とどういう関係でやっていくのかは、これから試行錯誤しながら進めていく。

6 市議あいさつ

会議を傍聴した岡田耕一議員、根本美春議員、水野博史議員があいさつした。

7 事務連絡

(1) 今後の地域会議の予定について

次回：令和5年8月10日（木曜日） 午後7時～

場所：美里交流館 多目的ホール

内容：第9次豊田市総合計画に関する諮問

今後のスケジュール：8月諮問、9～11月答申書の検討、12月市長への答申

(2) 美里ふれあいフェスタへの参加について

日時：令和5年10月21日（土曜日）午前10時～午後3時

内容：防災に関するクイズやアンケートを行う地域会議ブースを出展

委員への依頼内容：午前の部（午前9時30分～午後0時30分）及び午後の部（午後0時30分～午後3時30分）の地域会議ブース運営協力者を募集。8月の地域会議で調整する。